



六華の心

酒田市立第六中学校
学校だより 第32号
校長 加藤 浩昭
令和5年3月16日

127名の清々しい旅立ち ～第38回卒業証書授与式～

3月14日（火）、第38回卒業証書授与式を挙行政いたしました。

吹奏楽部の演奏に合わせ、胸を張って会場に入る卒業生入場から式が始まりました。担任の名前の呼び上げを受け、一人一人に壇上で卒業証書を授与しました。PTA 会長石川雄一様より祝辞を賜り、会場の関係で教室でのリモート参加となった在校生を代表し、菅心緒さんが卒業生への感謝と伝統を引き継ぐ立場としての決意を述べてくれました。卒業生の答辞では、齋藤愛姫さんが3年間のお互いの成長を讃え、仲間、保護者、地域の皆様、我々教職員への感謝、再会の日を楽しみに、新しく歩み入るそれぞれの進路で更なる成長を目指そうという呼びかけをしてくれました。

最後は卒業生による旅立ちの合唱。「春に」（指揮：安達琉琥さん、伴奏：齋藤彩乃さん）と「群青」（指揮：高橋宏太さん、伴奏：佐藤風花さん）の2曲を、思いを込め堂々と歌い上げる卒業生の姿が少しかすんで見えました。

笑顔があふれ、惜別の涙もあり、最後まで今年の卒業生らしい、清々しく爽やかな卒業証書授与式となりました。校長式辞の一部を裏面に記載いたしました。ご一読いただければと存じます。



期待！新たな学年での決意を持って4月を迎えよう

本日、1、2年生の修了式を行い、今年度の全教育課程を終えました。五十嵐永真さん(1-1)と相蘇杏さん(2-1)に、学年を代表して修了証を授与した後、沼田実莉さん(1-1)と三浦史翔さん(2-1)が1年間の振り返りと新しい学年にかける思いを発表してくれました。

校長からは、それぞれの学年の1年間の頑張りや成長、課題と感じるところについて述べた後に、次年度に向けて、以下の2点について話をしました。

- 卒業証書授与式での卒業生の姿を紹介し、1年後、2年後自分はどうのような姿で義務教育を終え、新たな道へと進みたいのか、学年の仲間とどのような卒業式を創っていききたいか。そのために4月から自分は何を大切にするのか。心に決め、準備をする年度末・年度始め休業にして欲しい。
- 新年度、学校を一步前進させ、六中のみんなが成長するためのキーワードは「思考」と「対話」だと考えていること。現状に妥協したり満足したりせず、より良い自分、より良い集団を創るために、修了式の今日から、2つのキーワード頭に置いて生活して欲しいということ。

4月7日（金）、引き締まった表情で登校する新2、3年生の姿を楽しみにしながら式を終えました。

卒業式の「式辞」より（後半の抜粋）

伝統を引き継ぎ、新しい足跡を書き加え、「新たな世界」に歩み入る皆さんに、二つの言葉を送ります。それは、「陽転思考」、そして「人生はオセロゲーム」という言葉です。

この仕事について十一年が経過した時、ある研修会に参加をしました。その時に小田全宏さんという方のお話をお聞きする機会がありました。「陽転思考」という言葉はその小田さんが書かれた本のタイトルです。小田さんは、陽転思考という言葉を次のように紹介しています。「物事を太陽のように明るく見ていくこと。良いことも悪いことも含めてありのままに受け止め、そこから様々な可能性を開いていくこと」。今風に言えば、ポジティブ思考という言葉になるのでしょうか。

その本の中に「人生はオセロゲーム」という一説があります。仲の良い友だちとけんかをしたり、親や先生から厳しく注意をされたり、頑張ったつもりだったのにテストの結果がよくなかったり、部活で思ったような成績をおさめられなかったり…そのようなときの気分は●ですね。そういうことが続くと、これまでのことがすべて黒く塗りつぶされているような気になるものです。

一方、親友といえる友達に出会えたり、注意してくれた人の思いに気づいたり、テストや部活動で自分の努力が実を結んだりすると、気分は○です。その一つの○を置くことがで

ければ、それまでの●は○に変わります。

「いや自分はずっと●だったから、○を一つ置いただけでは、●は○には変わらないという人はいませんか？」

大丈夫です。皆さんがこの世に生まれたこと自体が○です。皆さんの誕生は、家族の皆さんにとって何にも勝る○だったはずですよ。ですから、これからどんなに困難なことが続くことがあっても、一つの○を置く努力を続けて下さい。

その様な時に皆さんの支えとなるのが、この第六中学校で三年間大切に育ててきた「六華の心」です。学ぶ心、思いやりの心、素直な心、奉仕の心、そして感謝の心。この六つの心を磨き続けることは、みなさんが人生の岐路に立ったときに自分の力で○を置くための、確かな力となるはずです。

「旅立ちの心を映す春の空

新たな色を探し今発つ」

冒頭の拙い短歌は、皆さんが卒業記念合唱で歌う「群青」の歌詞を読みながら、また、巣立ちの日を迎えた皆さんの心に思いをはせながら、はなむけになればと思ひ詠んだものです。

皆さんの輝く未来。可能性は無限大です。

（後略）

保護者、地域の皆様へ

今年度も本校の教育に対しますご理解とご協力をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。特に今年度は校外での六中生の良い姿をご連絡いただくことが多くありました。そのたびに皆様から支えられて学校は成り立っているのだなという思いを新たにしましたところ。1年間のご支援に感謝申し上げます。新年度も本校を、六中生を見守り下さい。ありがとうございました。